

株式会社リニエR 通信

# かみひこうき



2月号



「よりそうチカラ」 vol.03

## 安心できる場所で自分らしい力が育つ

— S くん の 育 ち の あ ゆ み —



# Linie



<https://linie-group.jp>



vol.03

—Sくんの育ちのあゆみ—

## 安心できる場所で 自分らしい力が育つ

リニエプラッツ二子玉川 所長  
作業療法士 八重樫 貴之



### Sくんの特性と 大切にしていること

Sくん(5歳・年中児)は、音や人が多い環境など刺激の強い場面で気持ちの調整が難しく、集団に入りにくい様子が見られていました。大きな声を出したり、一人で過ごすことが多く、ルールのある遊びでは意図が分かりにくく、友だちとタイミングを合わせることに苦手がありませんでした。思い通りにならない状況では癇癪につながり、周囲に危険が及ぶ行動が見られることもありましたが、安心できる環境づくりや

分かりやすい個別の声かけ、肯定的な関わりを重ねることで、少しずつ気持ちを整えて行動できるようになっていきます。自分のペースを尊重されることで見通しをもてる場面が増え、集団の中でも落ち着いて過ごせる時間が広がってきました。頑張り認められる経験が安心感や意欲につながり、興味のある活動には集中して取り組む姿がよ

### 学びと運動を 組み合わせた療育

リニエプラッツ二子玉川では、「学びの活動」と「運動活動」を軸に、一人ひとりの特性に合わせた療育を行っています。学びの活動では、文字や図形、迷路、制作、ゲームなどを通して、「見る・考える・伝える・やり切る」経験を大切にしています。分からないときにはすぐに答えを伝えるのではなく、ヒントや声かけを工夫しながら、自分で考える時間を確保しています。「できた」「分かった」という実感を

積み重ねることで、次もやってみようという前向きな気持ち

が育っています。

運動活動では、バランスボールを活用しながら姿勢の安定やバランス感覚を育てています。身体を動かす中で、落ち着いて座ること、順番を待つこと、人との距離を意識することなど、集団生活につながる力を無理なく身につけていきます。活動の難しさは一人ひとりに合わせて調整し、不安のある子どもでも安心して取り組める環境づくりを大切にしています。身体が整うことで気持ちも整い、その後の学びの活動にも落ち着いて向かえる様子が見られています。

### 園での姿と 就学に向けたこれから

児童発達支援の中で、Sくんは「分からないときは聞く」「もう一回やってみる」といった姿勢が少しずつ育ってきました。初めての活動や人に対しては緊張することもありますが、見通しを伝えたり、得

意なことから始めたりすることで、安心して取り組むことができます。

保育所等訪問では、園庭で遊んでいたSくんが訪問支援員に気づき、友だちの手を取り「ぼくのお友だち」と紹介してくれる場面がありました。この姿からは、園生活の中で安心して過ごし、友だちとの関係を前向きに感じられていることがうかがえます。現在では、クラス全体への声かけで行動できる場面も増え、友だちとのやりとりも穏やかに広がっています。

来年の就学に向けては、「できる・できない」だけで判断するのではなく、困ったときに助けを求めること、刺激の多い場面で気持ちを整えること、安心できる大人や環境の中で集団に参加する経験を大切にしていきたいと考えています。これまで育んできた力を土台に、園・家庭・就学先と連携しながら、Sくんが安心して新しい一歩を踏み出せるよう支援を続けていきます。

## 「読んで」という切実な発信 — クレーン現象

子ども未来事業本部 浅野 ふみ（言語聴覚士）



皆様、年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。今年是比较的穏やかな年明けとなり、家族や大切な方とゆっくり過ごされた方も多かったのではないかと思います。

前回のコラムでは、「自分の気持ちを伝えたい、共有したい」という欲求こそが人間の本能であり、言葉を獲得する根幹であるとお伝えしました。今回は、私がそう考えるきっかけとなった、あるお子さんとの出会いをご紹介します。

5歳を過ぎたAくんは、知的障がいと自閉スペクトラム症(ASD)の診断を受けており、「言葉が出ない」という悩みで私の元を訪れました。発語は「アンパンマン」などごく一部に限られ、意思伝達の手段としての言葉はほとんど持っていませんでした。

お話を伺うと、Aくんはテレビでアンパンマンを見る

のが大好きで、流れるセリフをよく真似しているとのこと。そこで、私はAくんにアンパンマンの絵本を渡してみました。最初は一人で黙々とページをめくっていたAくん。しかし、絵描き歌や手遊びを通じて私が彼の「楽しい」という感情に寄り添い続けていると、ある変化が起きました。

Aくんが私の前に絵本を置き、私の手を取ってセリフの部分をなぞらせたのです。これは「クレーン現象」と呼ばれる、自閉傾向のあるお子さんによく見られる要求行動です。私はこれを、Aくんからの「読んで」という切実な発信だと受け止めました。

彼の手動きを合わせ、吹き出しのセリフを全力で演じるように読み上げると、Aくんはこれまでにないほど大喜びしました。そして、すべてのページのセリフを「読んで」と、次々に私へ合図を送ってくれたのです。

## 家族・仕事・自分の時間

### — いくつもの役割を生きるということ

精神科サービス推進室 扇 浩幸（作業療法士／公認心理師／相談支援専門員）



みなさま、こんにちは。扇です。今回は、人生にはいくつかのステージがあり、その時々で大切にする役割が変わっていくこととお伝えしました。今回は、「同時にいくつもの役割を持って生きている」という視点から、私たちの暮らしを見つめてみたいと思います。

私たちは日々の生活において一人で何役もこなしています。たとえば、親として家族を支えながら、利用者として医療や福祉サービスを受け、地域の一員として近所付き合いをし、空いた時間には趣味を楽しむこともあります。これらはすべて、その人の大切な「役割」です。

ところが、病気や介護、仕事の忙しさなどが重なると、役割のバランスが崩れやすくなります。「〇〇をしなければならぬ」が増え、自分の時間が後回しになり、心や体が疲れてしまうことも少なくありません。

そんなときは、今の自分がどんな役割を担っているのかを書き出してみるのも一つの方法です。減らせる役割はないか、誰かと分け合えることはないか、少しだけ自分の楽しみの時間を取り戻せないか。小さな見直し、暮らしのゆとりにつながります。

支援の現場でも、ご本人だけでなくご家族や支援者が一緒に役割を整理することで、無理のない生活づくりがしやすくなります。役割のバランスを整えることは、その人らしい毎日を守る大切な一歩なのです。





## リニエ訪問看護ステーション板橋 サテライト浮間舟渡を設置



所長 井上 沙織  
(看護師)

令和7年10月、板橋区舟渡にリニエ訪問看護ステーション板橋サテライト浮間舟渡を開設いたしました。私たちは地域の皆さまに支えられ、板橋事業所として11年目を迎えました。より身近で切れ目のない看護・リハビリ支援を提供してまいります。

新生児・小児・成人・高齢者まで、ライフステージを問わず幅広く対応しています。お子さまの支援では、児童発達支援事業所・放課後等デイサービスと同一施設内に併設し、日常の様子を共有しながら法人内で密に連携しています。これにより、一人ひとりに寄り添った継続的な支援を実現しています。

板橋事業所とサテライト浮間舟渡のスタッフあ

わせて28名で板橋エリアを対応しています。多職種が連携し、ご本人・ご家族が安心して在宅生活を続けられるよう支援します。住み慣れた場所で、その人らしく生きるために。これからも「地域・ご利用者様に寄り添う」を大切に支援してまいります。

今後とも、リニエ訪問看護ステーション板橋サテライト浮間舟渡をよろしく願いいたします。

### リニエ訪問看護ステーション板橋 サテライト浮間舟渡

〒174-0041

東京都板橋区舟渡2-11-2 ウキマパークコート 1F

電話: 03-5943-8166 FAX: 03-5943-8167



## YouTubeチャンネル「アンリーシュ日記」に出演

リニエ訪問看護ステーションキッズ世田谷 所長 川野 晃裕 (理学療法士)

リニエ訪問看護ステーションキッズ世田谷の川野です。この度、NPO法人アンリーシュ様が運営するYouTubeチャンネル「アンリーシュ日記」にて、私と管理者(看護師)の五十嵐が、実際のご自宅でケアやリハビリを行う様子取材していただきました。

アンリーシュ様は、医療的ケア児のご家族が立ち上げられたNPO法人です。「退院後、どうやって訪問看護を頼めばいいかわからない」「家族だけで頑張りすぎて疲弊している」という切実な声を受け、「もっと気軽に訪問看護を利用してほしい」という願いから今回の企画が実現しました。

「訪問看護ってどんなことをしてくれるの?」とい

う疑問に答える内容になっています。

ぜひ、以下の二次元バーコードよりご覧ください!



### リニエ訪問看護ステーションキッズ世田谷

〒157-0062

世田谷区南烏山5-32-14 アルファビル2 302

電話: 03-6909-1965 FAX: 03-6909-1966

Linie

東京都千代田区神田小川町1-8-8 VORT神田小川町 6F  
tel.03-5577-5915 / fax.03-5577-5916  
<https://linie-group.jp>

